

国内関係の動き

環境省廃棄物・リサイクル対策部

平成21年版 環境・循環型社会・生物多様性白書

- 平成21年6月2日 閣議決定 -

環境白書、循環型社会白書、生物多様性白書を統合
共通テーマ

『地球環境の健全な一部となる経済への転換』

循環型社会部分テーマ

『循環型社会づくりの構築を通じた経済発展の実現に向けて』

【次の事項等を紹介】

天然資源の消費抑制につながる各主体の取組を推進する具体的活動例

地域振興に結びつく地域循環圏の形成を進める取組

- ・使用済小型家電回収モデル事業(福岡)
- ・廃木材等によるバイオエタノール製造(大阪)

動脈産業と静脈産業をつなぐ取組

- ・セメント業界における廃棄物等の使用
- ・下水汚泥焼却灰からのリンの回収
- ・鉄道による廃棄物輸送

「経済危機対策」(循環型社会形成関連)

- 平成21年4月10日 -

京都議定書目標達成のための廃棄物部門緊急調査

2012年の京都議定書目標達成計画第一約束期間における目標値の着実な達成

課
題

- 1 温室効果ガス排出量については、国の統計値と産業界等による調査結果との間に乖離が見られる
- 2 地方公共団体と国の2度に渡る推計手法により、精度と公表時期が2年遅れている
- 3 廃棄物部門で実施している温室効果ガス排出量削減対策が、正確かつ迅速に反映されていない

国による全国的統一調査の実施

2009年度中

業種・業界ごとの調査手法を検討、都道府県に統一した調査手法や調査項目を提示



都道府県は国の指針に沿って調査を実施、国に報告



2010年度

廃棄物統計データの取りまとめ

第1約束期間内の2011年から温暖化対策への施策の企画・立案に役立てることが可能

廃棄物統計データの整備

【廃棄物統計情報の共有】

各都道府県における有機系・無機系廃棄物等の定量的なフロー情報を1本化

1 国内廃棄物部門からの温室効果ガス排出量の正確な算定と早期化

(2009年のデータを2010年度中に取りまとめ公表)

2 潜在的な循環利用の可能性を発掘し、資源の有効利用と環境負荷の低減に活用

3 経済変動や資源価格の乱高下に対して安定的な循環システムを構築

「緑の経済と社会の変革」(循環型社会形成関連)

- 平成21年4月20日とりまとめ -

第2章 緑の地域コミュニティへの変革

4. まちと地域の循環型社会づくり

- ▶ 循環型コミュニティの活性化
レアメタルリサイクル
- ▶ リデュース・リユースの推進
- ▶ バイオマス資源の循環利活用
- ▶ 窒素・リンの循環利用

第4章 緑の投資への変革

5. 循環産業の育成

- ▶ リサイクルシステム・技術の高度化
リサイクル市場のミスマッチの解消、レアメタルリサイクルの推進
- ▶ 循環型社会ビジネスの信頼性・透明性の向上
- ▶ 廃棄物処理システムの低炭素化推進
高効率な廃棄物発電の導入

第6章 緑のアジアへの貢献

5. アジアレベルの循環型社会づくり

- ▶ アジア3R推進フォーラムを通じた国際連携
- ▶ アジア諸国の廃棄物処理・3R関連の能力向上と実践を支援

世論調査：循環型社会に関する意識について

- 平成21年6月実施 -

全般的にごみの問題に関する意識は高く、具体的な行動にもつながっている傾向
一方、個別の事項としては、更なる行動を促すべきものもある
インターネット調査との相違を検証予定

調査対象

全国20歳以上の者 3,000人 有効回収数 1,919人(回収率64.0%)

調査期間

平成21年6月4日～14日

世論調査結果概要

ごみ問題への関心

関心をもっている 92.4%

環境にやさしい製品の購入(グリーン購入)

何らかの意識をしている 81.8%

ごみを少なくするための行動

何らかの取組を行っている 95.2%

再使用や再生利用のための行動

何らかの取組を行っている 95.4%

(具体的な行動内容)

【上位】ごみの分別 84.1% 資源として回収されるびんの洗浄 68.9%

【下位】携帯電話の回収協力 17.5% リサイクル製品の積極的な購入 13.3%